

令和 5 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市西部コミュニティセンター及び交楽園				
所在地	岐阜市下鵜飼一丁目105番地				
指定管理者名	岐阜市西部コミュニティセンター運営委員会				
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日				
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募		<input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料		<input type="checkbox"/> 利用料金	<input type="checkbox"/> 料金徴収なし	
指定管理委託料 (年額)	18, 497, 249円(令和5年度)				
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること				
施設概要	敷地面積 4, 177. 66m ² 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2, 239. 77m ² 防災会議室、集会室、教養娯楽室、生活相談室、大集会室、小会議室、料理教室、チビッ子室、駐車場 岐阜市西部図書室(併設施設)、岐阜市西部ふれあい保健センター(併設施設)				

●利用状況

		R05 上半期	R04 下半期	R04 上半期	R03 下半期	R03 上半期
利用者数(単位:人)		23,174	17,116	20,342	21,774	8,784
各室稼働状況(%)	防災会議室	91.7	94.7	91.7	88.1	85.3
	集会室	90.5	90.1	88.5	85.4	83.3
	教養娯楽室	22.9	25.8	19.1	19.9	21.0
	生活相談室	43.3	49.0	47.1	53.0	41.1
	大集会室	69.4	82.1	79.0	62.9	64.7
	小会議室	56.1	57.6	47.8	55.0	44.1
	料理教室	22.9	15.9	10.8	13.9	9.8

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用を行っている。 ②適切な運用を行っている。 ③コミセンだより及びサークル一覧表を発行し、構成地域の地域住民を対象に回覧し、センターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の要望などを聞きとり、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施(上半期) ①シニアの男性料理教室(6月) ②消防訓練(6月) ③防災研修会(7月) ④親子ふれあい教室	①保健所の調理実習が解禁されないので中止 ②6月21日に実施 ③7月8日に実施。西部コミセン運営委員及び各地域自主防災関係者計40名が参加する。 ④7月23日実施。「ウッドバーニングでミニ額を作ろう」を開催し、7組17名の親子が参加する。

施設管理	<p>日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検)</p> <p>法定点検 ①昇降機保守点検(年1回)</p> <p>定期点検 ①昇降機保守点検(年4回) ②し尿浄化槽保守(年52回)</p>	<p>日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし</p> <p>法定点検 ①下半期に実施</p> <p>定期点検 ①6/22、9/27に実施 ②毎週木曜日に実施</p>
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき遵守している。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回防災訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、管理・運営に努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	令和5年8月1日～8月31日実施(回答数:90件)
利用者アンケートの実施結果	設問① 年代 10歳未満 2.2%、10代 1.1%、20代 0%、30代 1.1%、40代 1.1%、50代 12.2%、 60代 13.3%、70代 55.6%、80代以上 13.3% 設問② 利用した部屋 防災会議室 32.7%、集会室 29.3%、教養娯楽室 4.3%、生活相談室 4.3%、 大集会室 12.0%、小会議室 6.5%、料理教室 3.3%、併設施設 6.5% その他 1.1% 設問③ スタッフの対応について 満足 66.3%、やや満足 18.0%、ふつう 13.5%、やや不満 2.2%、不満 0.0% 設問④ 施設・設備について 満足 64.4%、やや満足 19.5%、ふつう 14.9%、やや不満 1.2%、不満 0.0% 設問⑤ 全体的な満足度 満足 63.7%、やや満足 22.7%、ふつう 13.6%、やや不満 0.0%、不満 0.0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・来客者に対してできるだけ挨拶してほしい →できるだけ挨拶するよう心がけておりますが、一層、気を付けて対応します ・図書館の北側、南側に駐車場の屋根希望 →施設の構造上、困難といたします ・エアコンが壊れて暑い、早く直して →大変ご迷惑をおかけしました。業者を呼んで、その日のうちに修理しました ・1時間に1回駐車場の場内点検をした方がよい →最少人数で勤務しているので駐車場の点検までは困難なのが現状です

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市西部コミュニティセンターの運営上の基本方針、平等利用を確保するための体制	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限發揮すること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備等の整備など）	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造、スタッフの配置	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方針	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一緒にとなって、地域を巻き込んだイベント、社会活動の開催など	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関するこ	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none">・コロナの第5類移行に伴い特別な制限はなくなったが、流行は続いているので施設内でのアルコール消毒液の設置や定期的な消毒、換気対策などを行った。・自主事業の親子ふれあい教室は、昨年までとは内容を変えて「ウッドバーニングでミニ額を作ろう」を実施して好評であった。・電気料金が高騰する中、こまめな消灯など節電に務めた。
前回までの意見の取組み状況	<ul style="list-style-type: none">・アルコール消毒液の設置や換気対策など施設管理者として必要なコロナ対策を実施した。・親子ふれあい教室は、「ブロックを使って動くロボットを作ろう」を2年間実施したので、参加者が偏らないように今年は「ウッドバーニングでミニ額を作ろう」を開催した。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none">・コロナのため実施できていなかったシニア男性の料理教室について、保健所の調理実習が解禁になったので下半期には再開する予定である。・電気料金、燃料費の高騰が続く中、猛暑で燃料消費が大幅に増えたため他の経費節減に努める。

●所管課の意見

今年度上半期は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、消毒といった感染症対策は利用者の任意となったが、引き続き感染症対策用品を設置、また定期的な消毒や換気を行い、利用者が安心して利用できる施設管理に努めた。また、運営委員会事業を複数実施。親子ふれあい教室は例年と内容を変えて行い、7組17名の親子が参加し、地域交流の場を創出した。また、電気代が高騰する中、こまめな消灯を行い電気代縮減に努めている。加えて施設管理の面では、冷却塔ファンベルトの取替修繕や、自動火災報知設備及び誘導灯の修繕など、利用者に効果的な修繕を複数実施した。8月に実施したアンケートの結果、施設・設備の管理状況の満足度は83.9%、全体的な満足度は86.4%と高く評価されている。今後も施設管理運営や職員の日頃の接遇意識に期待したい。運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・適切な管理運営がなされている。
- ・館内が清潔に保たれており、管理運営に気を使っていることが窺われ良いと思う。
- ・若い世代の利用が少ないことから、学生などにもっと利用してもらえるような工夫があると良い。